

●島根県中山間地域研究センター：
イノシシ対策勉強会

島根県が設置した、全国唯一の中山間地域を総合的に専門的に研究する機関。研究だけではなく「住民主軸」による地域づくりにもコーディネーターを送って支援しています。真加部部落でも本格的に取り組むことになったイノシシ対策を中心に話を伺いました。イノシシなどの実験飼育場や防止策展示場もあります。



●ウランのふる里研究エリア基本構想

6月会議中の全員協議会に同構想が示されました。鏡野町と岡山大学は「中性子医療に関わる寄附研究部門の設置に関する協定」を今年2月に締結しています。その岡大などの共同作業チームが、鏡野町に「ウランのふる里研究エリア」を設定し、「中性子医療研究所（仮称）」と「ウラン環境研究所」を誘致しようというものです。また人形峠周辺の活用方法も提案されています。

●美作大学沖縄県人会の創作劇「時をこえ」



沖縄慰霊の日（6月23日）を前にして、沖縄戦末期のひめゆり学徒隊の一員だった「おばあ」の事を描いたものです。さらにエイサーの披露も

ありました。なんと美作大には沖縄出身の人が110人もいて、在学生の1割を占めているのだとか。

●ヘルプマーク推進、町へ申し入れ

ヘルプマークは援助が必要な方のためのマークです。外見からは分からなくても、周囲からの配慮を必要としている方々があります。そのマーク普及促進



日々の動き

- 5月
- 12日 核のゴミ学習会
- 19日 岡山県教組久米・苫田支部定期総会
- 24日 全員協議会、議会運営委員会
- 25日 大塚愛、鬼木のぞみ「県政・市政お話し会」
- 28日 鏡野町文化協会役員総会
- 29日 兵庫県尼崎市議選応援
- 31日 島根県中山間地域研究センター：イノシシ対策勉強会



- 6月
- 2日 学育の森：地域包括ケア勉強会
- 3日 どうする！原発のゴミ全国交流会 →
- 4日 南小資源回収、議案勉強会
- 5日 6月会議初日：提案説明、議会運営委員会
- 8日 2日目：質疑、委員会付託 全協「ウランのふる里研究エリア」基本構想等
- 10日 岡山弁護士会主催 共謀罪法案反対！1000人集会とパレード
- 11日 真加部地域農業研究会総会
- 15日 3日目：一般質問、全員協議会
- 17日 「過疎地域再生への道」講演会
- 18日 おかやまいっぼん津山はじめます 美作大学沖縄県人会の創作劇「時をこえ」
- 19日 総務委員会傍聴
- 20日 文教厚生委員会
- 22日 産業委員会傍聴 鏡野町手をつなぐ育成会総代会
- 24日 みどり岡山総会・みんなの自治講座
- 27日 6月会議最終日
- 28日 地域密着型特養 新宅運営推進会議
- 29日 国民健康保険運営協議会



- 7月
- 1日 真加部芳寿会総会
- 2日 河川清掃
- 3日 笠岡諸島へ
- 4日 岡山県町村議会議員研修会
- 9日 真加部夏祭り
- 10日 議運、タブレット研修 →
- 12日 ヘルプマーク推進、町へ申し入れ 安保法制違憲訴訟 第3回口頭弁論
- 14日 韓国勉強会（非正規社員の正社員化など） 講師：白石孝さん（官製ワーキングプア研究会） 「エネルギーから始める地域再生」講演会（高砂市） 講師：田中信一郎さん（地域政策デザインオフィス）
- 16日 宗枝夏祭り
- 19日 議運、在宅医療・介護連携事業推進協議会と意見交換会の打ち合わせ



のために「ハートエイド」の方が、鏡野町にもやって来ました。活発な意見交換ができました。

●宗枝夏祭り

お隣の宗枝部落の夏祭りに参加。手作りの祭りで、子どもの姿も多かったような気がしました。



光吉ひとし 鏡野町議会レポート

708-0335 岡山県苫田郡鏡野町真加部 379
T&F 0868-54-2345
h-mitsuyoshi@wi.kualnet.jp http://kagamino.org

No.2
2017.7



鏡野町は永続地帯です

文教厚生委員会の冒頭挨拶で、山崎町長から「鏡野町は食料自給もエネルギー自給もできている」という話がありました。エネルギーについては「水力が主でメガソーラーに頼らなくてもいい」のだとも。

そうなんです。鏡野町は永続地帯なんです。

千葉大とNPO法人「環境エネルギー政策研究所」が毎年試算しているのですが、市区町村の太陽光、バイオマス、出力1万キロワット以下の小水力など、再生可能エネルギー供給量を推計し、民生・農林水産部門の需要に占める割合を「自給率」とみなします。そのエネルギー自給率が鏡野町は118%。さらに食料自給率も147%で、どちらも自給できている「永続地帯」なのです。

食料とエネルギーの両方を自給できているのは、全国で1700ある自治体の中でも、わずか39しかありません。グローバル化や気候変動で地域が翻弄される中、実はこれはとてもすごい強みなのです。



西谷発電所

潜在力を生きた力に

水は環境と森林を守れば永続的に供給されます。鏡野町は非常に高い潜在的な力を持っているということです。

まずは町としてそれをしっかりと認識し、潜在力を実際の生きた力としていかねばなりません。「永続地帯」を町づくりの核としていくために、様々な人の協働で協議と研究の場が持てればと思います。

再生可能エネルギーの長期的なプランを作り、統計を整備し共有し環境教育にも活かすことが必要です。土地改良区で小水力発電を開始するところも多いとも聞きます。移住希望者へも強くアピールしていくことも必要です。夢は広がります。



大町発電所

6月会議報告

一般質問項目

- 1 投票率アップ
(1) 投票所までの「足」の確保
(2) 「主権者教育」
- 2 移動手段の確保
(1) 移動スーパー、移動図書館
(2) 「小さな拠点作り」
- 3 町民との協働でまちづくりを
(1) 分かりやすい予算書
(2) 協働のまちづくり条例

6月会議は6月5日から27日まで開かれ、5人の新人議員全員など9議員が一般質問に立ちました。また次の議案が可決されました。

条例の改正：個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正など。

H29年度一般会計・特別会計補正予算：項目の多くは春の人事異動に伴う補正ですが、雪害による公民館や町営住宅の修繕、鏡野多目的屋内運動場の人工芝貼りなどがあります。

除雪ドーザー、マイクロバス、トラクターの取得、中央公民館改修工事などの請負契約締結が可決され、新しい選挙管理委員と補充員が選出され、農業委員会委員と副町長の任命への同意がなされました。

また「核兵器禁止条約の交渉会議参加と条約実現を求める」請願が採択されました。(その後、核兵器禁止条約が国連で採択されました)

1 投票率アップについて



町の合併後の投票率ですが、8年前が81%、4年前が74%、今年が73%、という数字が出ています。選挙をするごとに投票率が低下しています。

2年前の統一地方選に関してNHKは「都市部よりも、それ以外のところのほうが下落幅が大きくなっている」と報じました。これに対して地方選挙に詳しい研究者は「地方の投票率は都市部より圧倒的に高い状態が続くのが常識だったが、投票に行きたくても行けないようなケースがこれから一般化する。歩行が困難になっている、あるいは入院をしている、老々介護や独り暮らしが増えているといった『投票弱者』になった方に政治に参加してもらうためには、これまでのように『投票に来てください』というやり方では通用しなくなっている。投票箱を持って行く『出前投票』や、『移動投票所』のように行政が有権者に近づくなどするべきだ」と述べていました。

投票所までの足を確保することが必要です。投票所までの距離が遠い地域では、無料の移動支援バスを運行するなど足の確保を行っていただきたい。

また昨年の参院選で島根県浜田市が「移動期日前投票所」を導入しました。コスト面で大きな負担がかからず、高齢者にも喜ばれる「移動投票車」ですが、検討をしていただきたいと思います。

次に、若い人へのアプローチです。選挙権年齢が引き下げられ、注目を集めました。若い人たちに選挙、政治に関心を持ってもらい、投票してもらうために、

どのような施策を行い、今後行っていきますか。その中心となる主権者教育へのこれまでの取り組みと、今後のお考えもお聞かせください。

【町長】投票所の統合も検討しており、その中で地域の方からも交通手段の確保という要望もいただいております。具体的な方法について検討しております。

【教育長】小中学校では、実際の投票箱を選管から借り、児童会、生徒会選挙の投票を行い、模擬選挙を体験しています。

2 住民の移動手段の確保



高齢化によって、移動手段を確保できない人が増えています。最近では「買い物難民」という言葉もあります。自宅から食料品を販売する店舗まで、直線距離で500メートル以上あり、自動車を持たない65歳以上の高齢者を、買い物難民、買い物弱者と言います。全国では1,000万人以上の買い物難民がいると言われております。

これに対して、町営バスなどの取り組みがなされています。

第二次総合計画では「町営バスなどの利用に関して、満足している町民の割合が、33%前後で推移しており、町民ニーズはさらに高いものを求めている」と指摘しています。

最近、移動スーパーの取り組みが注目されています。冷蔵庫付きの小型トラックで、肉や魚、野菜などの生鮮品や食料品、日用雑貨などの商品を積んで巡回するものです。個別に対面販売する移動スーパーは高齢者の見守り役にもなっています。

また高梁市の図書館は、移動図書館車で、図書の貸し出しに合わせた物品の販売を試験的に始めています。移動図書館車の魅力アップと、交通が不便な中山間地の買い物支援につなげる狙いです。

かつてなかった取り組みが各地で始まっていますが、鏡野町として

も取り入れていくべきではないでしょうか。

【町長】デマンド交通は現在、富地区から箱のバス停区間の1路線のみです。商工会ともデマンド交通が実現できるかどうか継続協議中です。

3 町民との協働：わかりやすい予算書

予算書の書き方には、もう少し工夫の余地があるのではないのでしょうか。

町の予算や財政を住民の方にわかりやすく情報発信し、町が行う事業や財政について、住民の皆さんと共に考えていくという、基本姿勢の問題です。住民とともにまちづくりを進めるためには、町の予算や財政について、理解してもらわねばなりません。そのために分かりやすい予算書、そしてその解説書を作成することが必要だと思います。

できれば、中学生にもわかってもらえるものを作成することが大切です。これからの町を、そして社会を担っていく中学生にも、町の予算を理解してもらうことは、必ず今後の社会に役立っていくと思います。さらに、それをHPにもアップして、すぐに見えるようにすることが必要ではないのでしょうか。

【町長】来年度に向け他の自治体を参考に町民の方にわかりやすい予算書を作成し、作成後はホームページにアップします。

★絵や図表なども大切ですが、町の政策体系と予算がどう繋がっているのかが見えることが必要だと思います。私もさらに研究したいと思います。

■ これからの予定

7月28日 7月会議
9月4日～ 9月会議

■ 町民と議会との意見交換会

今年のテーマは 「みんなで語ろう！ 明日の里づくり
～鏡野町第2次総合計画から考える～」

議員を3班に分けて一日に3ヶ所で行います。
出された意見や要望を元に町に対して政策提言を行うこともあります。
次の日程です(いずれも午後7時から)ご参加下さい。

8月8日(火) 芳野、中谷、羽出公民館
9日(水) 香北、郷、富公民館
22日(火) 小田、上齋原、大野公民館
23日(水) 奥津、泉、香南公民館

(詳しくは「広報かがみの」8月号の折込チラシを)

*私は、中谷、郷、上齋原、泉公民館に参加予定です。

